

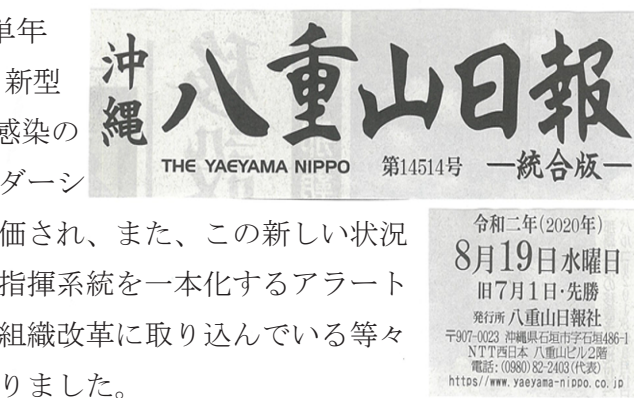
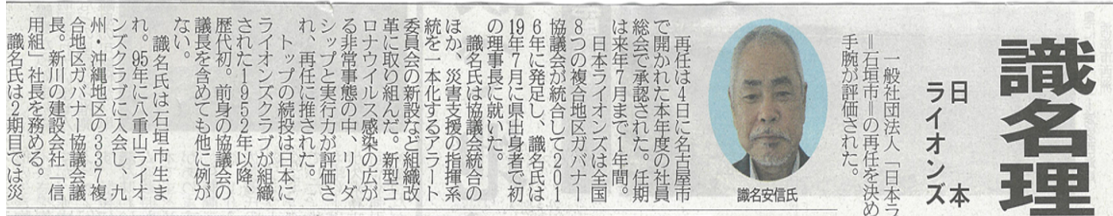
# 会員情報

識名安信ライオンが、一般社団法人「日本ライオンズ」の理事長に再任されました。

従来理事長職は単年度制であったが、新型コロナウイルスに感染の状況下、そのリーダーシップと行動力が評価され、また、この新しい状況の中で災害支援の指揮系統を一本化するアラート委員会の新設など組織改革に取り込んでいる等々が異例の再任となりました。

先日の8月第二例会で、7月にあった九州豪雨の被災地にいち早く入ったが「今回のコロナ禍の中で県外よりの災害ボランティアの移動が出来ず、これまでとは違う状況になっている中で、今後の奉仕活動の在り方も変わってくると思います。」と語っていました。

また、地元の八重山日報より取材を受け、当日の一面トップで紹介されています。



再任は4日に名古屋市中区で開かれた本年度の社員総会で承認された。任期は来年7月まで1年間。日本ライオンズは全国8つの専管地区が1つの協議会を統合して2018年に発足し、識名氏は19年7月に興出身者で初の理事長に就いた。識名氏は協議会統合のほか、災害支援の指揮系統を一本化するアラート委員会の新設など組織改革に取組んだ。新型コロナウイルス感染症の広がりや非常事態の中、リーダーシップと実行力が評価され、再任に推された。ライオンズクラブは日本に設立された1952年以降、歴代初の前身の協議会の議長を務めた他に例がない。識名氏は石垣市生まれ。05年に八重山ライオンズクラブに入会し、九州・沖縄地区の337複合地区が「協議会」議長、新川の建設会社「信和」社長を務める。識名氏は「期目は災害支援と青少年育成に力を入れる方針を明らかにした。災害支援では7月の九州豪雨の被災地を視察し、コロナでボランティアが入れずに復興の遅れを懸念し、支援の在り方を見直すべき」と語った。青少年育成では「百年の大計に当たる機会がコロナで失われてはならない。こどもや若者支援を通じて経済的弱者の視線を立てて支援の力を注ぐべき」と語った。



## ゾーンチェアパーソン就任 (337-D 地区沖縄リジョン3ゾーン)

八重山ライオンズクラブ会員の皆様におかれましては、益々のご健勝にて、ライオンズの高揚にご精進のこととお慶び申し上げます。コロナ禍で活動が制限される中、砂川会長を中心に弱視改善プログラム教材を俊敏な動きで石垣・竹富町与那国町の自治体と協力し保育園、幼稚園に寄付するアクティビティーを行っている報告を受け大変感動致しております。337-D地区の各クラブもコロナ禍で大変制限をかけられている環境下で活動を行っています。

また、台風・ゲリラ豪雨と自然災害も多発し仮住宅に住んでられる人々も多くおられます。必要な時に必要な援助やボランティアをライオンズのネットワークを通して行われるよう、日本ライオンズ理事長を始め多くの同志達が頑張っています。

我々八重山ライオンズクラブも、今まで通り素晴らしい活動を行い地域に誇れるライオンズクラブを砂川会長を中心に造っていきましょう。私は、ゾーンの各クラブが活発な活動を行えるよう環境作り沖縄リジョン八重山ライオンズクラブを盛り上げたいと思います。

我々八重山ライオンズクラブも、今まで通り素晴らしい活動を行い地域に誇れるライオンズクラブを砂川会長を中心に造っていきましょう。私は、ゾーンの各クラブが活発な活動を行えるよう環境作り沖縄リジョン八重山ライオンズクラブを盛り上げたいと思います。

# アクティビティ

## 幼児弱視早期発見検査キット贈呈

今年度のスタートアップ事業である「地域の子ども達の弱視を・・・早期発見検査キットで守ろう」の取り組みが7月29日の石垣市への贈呈から始まり、8月22日は竹富町へ、27日は与那国町への贈呈が行われました。子供の視力の発達には生後～6歳ぐらいまでといわれており、弱視治療で大切なことは早期治療と早期発見が重要であります。このため、保育所や幼稚園等々で早い時期に視力検査を実施して頂き八重山地域の子供たちの視力を守るためには行政機関の支援が重要と捉え三市町への贈呈となりました。竹富町の西大舛高句町長は「昨今は電子機器の影響か、眼鏡をかけている子供たちが多くと気になっていました。早期発見できる体制を構築したい」と感謝していました。



## PRスルベ 津波避難訓練 感謝の塔の高揚現場

日時：7月25日(土) 午後5時～  
場所：宮良牧中  
参加者：砂川一晃・和泉用允・崎浜秀崇・仲間清隆  
花城 哲・天久源三・事務局他

